

ジョブクラス（リソースグループ）について

赤字の部分追加

- 各サブシステムには複数のリソースグループがあり、適切な使い分けが必要
 - 最大ノード数や最長実行時間が適切なものを選んでください
 - pjstat2コマンドで空き状況が確認できます
 - `pjstat2 --use`
 - `pjstat2 --use-core`
 - `pjstat2 --rsc -b`
 - `pjstat2 --rsc-core -b`
- 常設のリソースグループでは実行できないジョブ向けにfx-special, cx-special, cxgfs-special, **lm-special**, cl-special リソースグループを用意しています。
 - 全ノード実行を含む大規模実行が可能です。ただし他の利用者への影響が大きいため、利用できるタイミングは保守終了後などに限定されます。
 - 通常のリソースグループの最長実行時間よりも長時間のジョブを実行するために利用することも可能です。
 - ご利用を希望する方はQ&A SYSTEMまでご連絡ください。

Type IIIサブシステム

赤字の部分が変更・新規の箇所です

リソースグループ名	最大ノード数	最大CPUソケット数 (CPUコア数)	最長実行時間 (デフォルト値)	最長実行時間 (最大値)	備考
【変更】 lm-middle	1	4(112)	24時間	72時間	メモリ：5,356GiB 会話型バッチ利用可
【変更】 lm-large	1	8(224)	24時間	24時間	メモリ：10,712 GiB
【新規】 lm-special	1	16(448)	unlimited	unlimited	事前予約制(†) メモリ：21,424 GiB

† lm-specialについては「ジョブクラス（リソースグループ）について」のページを参照してください。